

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
15件	昭和の森	しょうわのもり	昭和飛行機、昭和の森ゴルフ、モリタウンこれらを含む町名としては[昭和の森]がよく馴染み、認知されやすいと考えました。隣接の[つつじヶ丘]、[武蔵野]、[美堀]と並べても、地図を広げたとき昭島駅南口では[昭和]を使用しているので、北口が[昭和の森]となるのは必然の理由と考えます。
			昭島駅北口で長年にわたり用いられ、定着した地名のため。近隣の公共・商業施設などにも「昭和の森広場」や「セブンイレブン昭和の森店」など、「昭和の森」を冠した施設名が多くなじみ深い。MORIPARKは営利の民間施設の名だが、「昭和の森」は市民の名前と言える。
			職場に昭和の森と入っている為、馴染みやすいと感じたからです。
			以前から、この近辺はそう言われてきたので、馴染みのあるこの名前がよいと思いました。このあたりもこれからゴルフ場がなくなるなど聞いていますが、職場も昭和の森と名前がついているので、この名前がいいと思います。
			近隣にはフォレストイン昭和館や昭和の森施設が存在し、自然や緑に溢れています、、職場も昭和の森ということで馴染みのある名称である為そのような町名が良いと思いました。
			なさばみがあるので。
			昭和の森が大きくある町であり、地図を見たときにもわかりやすいと思ったから。
			フォレストイン昭和館の裏一帯は、とてもすてきな森になっています。この地区の一部が大きな倉庫になると言われていて、本当に残念に思っています。近くに住んでいます、一度フォレストイン昭和館に泊ってみました。すると窓から見えるその景色は、本当に大きな森で、綺麗でした。どの程度この景色がなくなってしまうのか？これを残す事は本当にできないのか？窓から見ていた時に悲しくなりました。倉庫を作るよりも、自然を残す事を大切にしたい。人が生きていく上で、大切なものは何か考えて欲しい。今の景色がなくなったとしても、この素敵な森を忘れないように、私はこの地区に昭和の森という地名を残したいと考えました。よろしくお願い致します。
			テニスコートやゴルフ場の名称としても使われ、モリパークの施設がある町名に合ってると思う。もくせいの杜と近い感じもあって良い。
			昭和の森という名称が根付き始めているから
			昭和の森 昔から昭和の森って言っていたので、この辺は私の中で昭和の森って地域だと思ってるので！
			立川市には「タチヒ」、隣の昭島市には「昭和飛行機」があり、昭島市政には多大な貢献をいただいて来た。その隣接するゴルフ場も閉鎖されることに際し、その名称に因んで、「昭和の森」と命名してほしい。
			イトマンスイミングスクール昭和の森校に子供を通わせていたので、「昭和の森」の名称に非常になじみがあるので、いいと思いました。
			昭島市民が馴れ親しんだ呼び名だから。 昭和の森と言えば、市民ならあの辺りと簡単にイメージ出来るから。
			昭島市における「昭和の森」は「昭島くじら」と並び全国ブランドです。「昭和の森」は「豊かな自然と緑」「健康」を表わす名称として市民に身近かにそして愛着をもって受け入れられています。また昭和飛行機はゴルフセンター、スポーツセンターなどに題した「昭和の森」ブランドを商標登録をするなど大切に守り育ててきたときいています。「つつじが丘」に「つつじが丘公園」があり「昭和の森公園」は「昭和の森」にあることが必然であると考えます。以上
12件	代官山	だいかんやま	室町時代に代官がこの地域に館を構えていたことから、後世の人々がこの一帯を代官山と呼ぶようになった歴史的由来のある字名であり、また、本地域には代官山緑地と呼ばれる広大な緑地もあり、大規模開発が予定されている中、この緑地を将来世代に残していきたいとの思いから、代官山としました。
			代官山緑地があり、これから昭和の森ゴルフ場跡地など、どう変わって行くか分かりませんが、代官山って言う名前をずっと残して行けたら良いなと思いました。なんかすっきりしてかっこいいし、おしゃれな名称だと思いますので、いかがでしょうか
			江戸時代代官屋敷があったといわれているから
			字名に有りますが町名に無し※昭島駅の北側なのに拝島はおかしい
			この周辺に古くからある呼び名であり、交差点にも名称が記入されている。つつじが丘とか、もくせいの杜とかとくらべてもとても素適な町名だと思います。
			交差点に名称があり、この地域に古くからある呼び名であると聞いておりました。「代官山」高級感があり、落ち着き感がある町名だと思います。
			そばの信号が代官山なので。
			代官山は信号機に使われている 古い呼び名と想われる
			・フォレストイン昭和館およびその北側の森周辺の小字が、「代官山」であること。 ・「代官山の森」を昭島市の緑と自然保護の象徴として、未永く守っていく拠り所とするため。 ・東側に隣接する地区の町名が「つつじが丘」であり、昭島市の北部が相対的に高地であることを「山」や「丘」の字からイメージしやすい。 ・渋谷区の東急東横線に「代官山駅」があるが、おしゃれな街の印象がある。それにあやかって、昭島の「おしゃれな街」になってもらいたい。 ・なお、渋谷区の町名は「代官山町（だいかんやまちょう）」だけであり、昭島市の場合「代官山〇丁目」となるだろうから、重複の心配はない。
			代官山緑地は以外と知られていないと思われます。とても良い場所なのに、今回のプロジェクトで物流倉庫ができて、交通量も増えいろいろと変わってしまうのでしょうか。良いところを残しつつ、開発して頂きたいですね。
			すでに交差点名にも使用されており、地域に好まれている名称かと思われます。既存の地名にはなりますが、これから開発される昭島駅北地区の発展・イメージアップにもつながると思います。代官山町も候補のひとつです。
			室町時代に鎌倉扇ヶ谷上杉家と言う代官がこの一画に館を構えたと言う歴史があるそうで、現在も字名として残っているから。

町名集計結果（件数順）

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
6件	くじら町	くじらちょう	私がくじら町がいいと思った理由は、やっぱり、「昭島といえばくじら！」というイメージがあるからです。私が持つくじらのイメージは大きくて立派な生き物というイメージです。このイメージのように新しくできる町が、「人がたくさん集まり、明るく楽しく過ごせる立派な町になってほしい。」という意味を込めてつけました。 また、私が思うに「くじら町」と書いてみるとどこかかわいらしい感じがするというのも理由です。 そして、「くじら」を通してたくさんの人たちに私の大好きな昭島市を知ってほしいという思いも込めました。 昭島に新しくできる町がとても素敵な町になることを心から願っています。
			1961年に昭島市でくじらの化石が発見されてから62年の月日が経っており、昭島市民にとって昭島くじらは昭島の象徴であり身近な存在である。 アキシマエンスシにある昭島くじらの化石レプリカは昭島が大昔は海だったという証拠で、子どもだけでなく大人も歴史に興味をもつきっかけとなっている。 今回の昭島駅の北口の付近はモリタウンやアキシマエンスシがあり、昭島の中でも多くの観光客や地元の買い物客が訪れる地域である。そのため、町名を昭島市くじら町とすることで、親しみやすさや昭島の歴史を知る一つのきっかけになればと思った。
			くじらまつりがあったり、アキシマエンスシにくじらの化石があったり、くじらのまちだからです。
			「くじらの町」を推すのなら、町名にあっても良いと思うから。
			昭島といえばクジラ！ 夜のライトアップされたエンスシには、引っ越してきた当時とても圧倒されました。
			昭島市は、鯨の化石が発掘された市です。 くじら町があるのはとても自然だと思います。鯨の化石から昭島市を連想する方はすでに市内外問わず一定数いるかと思いますが、くじら町が存在することでさらに昭島市に興味を持ってくれる方が増えると考えます。化石のアキシマクジラが、子どもに限らず地質学や日本列島の歴史を学習するきっかけになることがこれまで以上に期待できますし、市のピーアールにも一層活躍してくれると思います。 平仮名の「くじら」にしたのは、易しい表記の方がより親しみやすく、周辺につつじヶ丘やもくせいの杜が存在しているのでそれとも馴染むと考えたからです。また、「くじら」の持つイメージそのものが、とてもかわいく賢く逞しいので多くの市民の納得のいく町名だと確信しています。
4件	昭和の杜	しょうわのもり	「昭和の森」は昭島駅北口界隈の呼び名として今まで使い慣れ、親しんだ名称ですので「昭和の森」も良いのですが「昭和の杜」の方が神秘的で良いと思います。
			昭和という昭島に馴染みの深い町名と、新しい地名でまだまだ認識度の低い、もくせいの杜をより馴染ませるとともに新しい町名としての統一感を出すため
			昭和飛行機の名称になじんでいた
			今でもこの地域が「昭和の森」と呼ばれている事と、これから更に知名度が高くなると思うので「森」を「杜」に変える事により品格があると思い推薦します
2件	くじらの森	くじらのもり	昭島はくじらが発祥であり、豊かな森に包まれているため両方の意味を与した名前がいいと思いました。
			昭島市で発見されたアキシマクジラから名前をもらい、アキシマクジラを後世に伝えていくためにこの名前にしました。クジラのように昭島市も立派な存在になって欲しいという願いも込めてこの名前にしました。また、後に付いている「森」は昭島市の自然を表現し、付けました。
2件	昭和の森町	しょうわのもりちょう	昭和の森の地域だから、町名も「昭和の森」がわかりやすく、馴染みもあると思います。
			昭和の森テニスコートやフォレスト・イン昭和館など「昭和」という文字が使われている施設があり、昭島市の中で便利な大型施設である「モリタウン」つまり「森の町」という意味をもらって「昭和の森町」とつけました。「昭和の森」は昭島市民はなじみのある言葉なので言いやすく、覚えやすいと考えました。また、「昭和の森」は住所を求められた際も、難しい漢字を使っていない為、小学生から幅広い世代の方々が大変な思いをせずに気軽に読み書きができると思います。そして何よりも「昭和の森テニスコート」など「昭和の森」が使われている施設が周辺にあるため、小さい子どもたちも「昭和の森町」と聞いてどこの場所なのかすぐに把握できるのではないかと考えました。
2件	つばさ町	つばさちょう	かつて昭和飛行機の敷地であり多くの人が働いていた歴史のある場所です。 そして、ここから多くの飛行機が飛び立ちました。 そこで飛行機の「翼（つばさ）」と、これから開発されて栄える（羽ばたく）ことにちなんで「つばさ町」としました。
			もともと飛行機を作ってた街だった場所だから。いちょうが印象的な街けど すでにもくせいの杜、つつじヶ丘があり似たりよったりだから
2件	花水木	はなみずき	昭島駅北側地区では季節毎に綺麗な花を見て楽しむ事が出来ることと昭島市の特徴である水や緑などの豊かな自然環境をイメージした街づくりであって欲しいという想いを込めました。また、子供や海外の方々が簡単に読み書き出来るよう小学一年生で習う漢字を使った「花水木」としました。
			市民憲章に「緑と花をそだて美しいまちをつくります。」とあるので水を入れて花水木としました。花の名前にもあります。つつじが丘(丘)、もくせいの杜(杜)、武蔵野(野)とあるので花水木(木)がいいと思いました。
2件	みずき町	みずきちょう	・地下水で潤う町 ・水木の花が似合う町（花言葉＝成熟した精神） ・人々が集う賑やかな町 以上の様な街をこめた名です
			昭島駅北側地区の北側には、玉川上水が流れ豊かな自然が広がっています。町名を考えた時、この玉川上水の水の流れと、両岸に茂る雑木林から「水」と「樹」という単語が思い浮かびました。また、昭島駅からフォレストイン昭和館方面に伸びる道路の両側にははなみずきが植えられ、「はなみずき通り」と呼ばれています。このことから、「水」、「樹」「はなみずき」を組み合わせで「みずき町」という町名を考えました。漢字で「水樹町」とすると少し堅い感じがするので、わかりやすく、読みやすいようひらがなにしてみました。市民の誰からも親しみを持ってもらえるのではないのでしょうか。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
2件	水の森	みずのもり	昭島市といえばやはり美味しい水。地下水を使用する唯一無二の自治体。近くには商業施設があり便利が良い中にも、少し行けば玉川上水が流れ木々があり四季も感じられる町並み。美味しい水がある事も、四季を感じる美しい木々がある事も当たり前な事ではなく、私達住民が大事に出来るよう水の森としました。都会すぎず自然を感じられる昭島市はとても住みやすい町だと思います。
			この地域の北側には玉川上水があり、また長年に渡り昭和の森として親しまれてきた場所です。昭島市はきれいな水と自然豊かな森に恵まれており、それらを合わせて「水の森」としました。水は生命の源であり、流れる水の音や見る景色は心を落ち着かせ、心身のリラックスに寄与します。「水の森」という町名は、市民にとって心のオアシスとなり、日常の喧騒から解放される場所であることを示唆しています。 「水の森」は、昭島市のイメージを踏まえた魅力的な町名であり、市民にとって誇りを持てる場所となるのではないのでしょうか。自然と都市の融合が、健康で活気あるコミュニティを築く基盤となります。この町名が、地域のアイデンティティを強化し、市民の結束を促進することで、昭島市のさらなる発展と魅力的な未来を築く一助となることを願います。
2件	令和町	れいわちょう	元々昭島という名前は昭和町と拝島村に由来していたこともあり、年号にあやかった歴史的背景のある地域です。令和を冠した地名はまだ存在しないと思いますので、全国に先駆けて命名することは話題性にも事欠かないと思います。一部のオンライン上のバーチャルな自治体として過去に令和市が存在した様ですが、昨年廃止された様ですので、メタバースなどのバーチャル空間にも参入障壁はないかなと思います。昭島駅を挟んで北の令和町、南の昭和町、語呂も良さそうですし、何かしら競争原理が働いて街が活性化する様な気もしています。一部の政党名を彷彿とさせる可能性もありますが、その印象を超える様な街のポテンシャル向上を期待しております。
			新しくできる街で和暦の令和の時代を象徴していく街並みになってほしいと思います
1件	翠町	あおいちょう	自然豊かなこのエリアを今後も大切に保全し、自然と共存した理想的な街づくりを実現する為
1件	青空	あおぞら	この辺りは、昭和飛行機が一面にありました。飛行機と言えば、空をイメージします。空といえば、青空が一番です。市内の中でも、より青空が見える地域だと思います。
1件	青葉町	あおばちょう	全国に青葉という町名が多々あるとは、と思いますが、当該地域は緑が覆う森があり、これからどんどん開発されるとと思いますが、青葉が残る地域になると期待を込めて青葉町がいいと思う。
1件	青森町	あおもりちょう	かつて戦争時には軍用飛行機が製造され、頻繁に飛び交っていた昭島駅北側の地域は、今や平和で青々とした美しい空が広がる素晴らしい場所となりました。また、この地域は自然に恵まれ、「昭島の森」として親しまれております。そこで、私はこの特別な地域の新しい町名として「青森町」をご提案します。この名前には、穏やかな青い空と自然の豊かさが詰まっており、地域の特色を美しく象徴しています。住民の皆様に誇りを持っていただけるような名前であり、地域コミュニティの絆を深める一助になると確信しております。「青森町」は、訪れる人々にも心地よい印象を与えることでしょう。また、持続可能な地域の発展にも良い影響をもたらすことが期待されます。
1件	茜ヶ原	あかねがはら	武蔵野台地の一角にある昭島のこの地は、四季を通して詩情に富んだ風景を見せてくれます。古の武蔵野は草原だったそうで、万葉集にもその様子がうかがえるそうです。富士山をはじめ、奥多摩、奥武蔵、丹沢山塊の山並み背景に夕刻、広々とした風景は、日々心に迫るものがあります。その日の天候にもよりますが、晴れても、曇っても空の奥行きが色彩豊かな表情は決して同じ日はありません。季節は移り変わり、茜色の空の変化を見ていると明日への思いが彷彿としてきます。私は、時々、青梅線沿いや近隣の商業施設の屋上から日没時間前後の空の表情を楽しんでいます。横田基地を離着陸する飛行物体、帰営するカラスの群、更に高く架かる月星の変化など茜色が滲んで変化してゆく光景に見とれてしまいます。昭島のこの広い視界を呈する問う地名を思うに当たり茜色を加えてみました。
1件	昭島	あきしま	青梅線昭島駅に由来。青梅線沿線民は、「買い物をしに東中神に行ってくる」とか「西立川に住んでいる」等、地名を駅名で呼ぶ習慣があるため、昭島とするのが分かりやすい。これを機に、他の4駅も含め、各駅利用者が普段何気なく利用している駅を、「自分たちの駅」として愛着を持つことを期待する。
1件	昭島駅北	あきしまえきた	昭島市民、他区市町村に住居をもつ人々にとって「昭島駅北」はJR青梅線「昭島駅」を思いうかべて、非常にわかりやすい地域名になっていると思います。「昭島都市計画図」には「昭島駅北口駅前地区計画」と使用されていることもあり昭島市民の方々にとっても親しみのある地名と考えます。以上。
1件	昭島北中央	あきしまきたちゅうおう	今回の町名応募対象地にてプレミスト昭島モリパークレジデンスというマンション販売を行っております。世帯数481戸のマンション誕生を機に、ここの地が今後の昭島市発展の中心となれば良いと思います。シンプルで誰もがイメージしやすいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
1件	アキシマクジラ	あきしまくじら	アキシマクジラと言う学名を広く知ってもらい、それを起点に、自然史に興味を持って、さらに環境活動を推進して行けるような、地域社会を築いて欲しい。
1件	昭島タウン	あきしまたうん	昭島の商業施設の街のイメージです。他市町村にアピールしやすく、わかりやすいと思いました。
1件	昭島モリパーク	あきしまもりぱーく	モリタウンに関連する名前を町名にも残したく。ちなみに、“町”はつけなくて済むのが望ましいです。
1件	昭中町	あきなかちょう	新しく誕生する町は、昭島駅が昭島市の中心なので、昭島市の『昭』と中心を意味する『中』をそれぞれあわせて『昭中』町（あきなかちょう）と命名しました。
1件	あきノース	あきのーす	大好きな昭島駅北口なので、そのままあき島駅NORTH。
1件	飛鳥	あすか	この地域一帯がもともと昭和飛行機の敷地であり、その名残がはっきりわかるよう、1文字“飛”を入れた地名が良いと感じたため。 “鳥”は自然豊かな昭島市にムクドリなどの鳥がたくさん飛来している状況を表現していると思ったため。
1件	彩音町	あやねちょう	町域内は木草花が豊かで、四季折々に様々な表情を見せてくれます。そのような自然の表情とそこに暮らす人々の暮らしが彩り豊かであることを願い「彩」の字を、また、その土地を訪れて歩くと聴こえてくる多彩な音色（樹木がそよぐ音、小鳥のさえずり、玉川上水のせせらぎ、など）を想起させてくれる「音」の字を組み合わせました。
1件	勇魚	いさな	勇魚とは、クジラの事です。昭島市は太古のクジラの貴重な全身骨格が出土した場所です。アキシマエンシスという学名も付いています。日本人とクジラの文化は遥か昔から今に伝わっています。その一つの手掛かりとして、日本最古の歌集、万葉集では捕鯨を勇魚取りと表現されています。昔の日本人はクジラのことを勇ましい魚、勇魚(いさな)と呼んでいました。今でこそ昭島にクジラが泳ぐ海はありませんが、太古を偲ぶロマンとしてクジラの街 昭島市に勇魚という地名が新たに生まれることでより内外のアピールにも繋がります。勇魚は昭島市を文化的にも科学的にもベースアップしてくれる力強く素敵でネーミングだと考えます。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	勇魚町	いさなちょう	1、昭島市のPRポイントは、「美味しい深層地下水100%の水道水」と昭島市の宝200万年前の化石「アキシマクジラ」です。クジラの古名「勇魚（いさな）」を新町名にする事で昭島市のPRポイントにも関連付けが出来ます。また、市の施設である「アキシマエンス」が隣接する地区にありアキシマクジラとの関連付けにも一役貢献出来ると考えます。2、建設中の大型マンションに市外から転居して来られた方に昭島市の歴史をご自分の町名から知っていただけたと思います。以上
1件	泉の杜	いずみのもり	水と緑あふれるまちとして栄えてきた昭島市として、自然が連想される町名が良いと思い「いずみ」と「もり」の響きをつけました。 また、昭島と言えばおいしい地下水が飲めるので、泉のように水が湧き出るイメージから「泉」を入れました。 さらに、これからもっと緑あふれるまちとして、皆んなが住み良いまちであり続けて欲しいという願いを込めて「もり」という言葉をいれました。他にも、昭島駅北側の地区は“昭和の森”や“モリタウン”、“フォレストイン”“モリパーク”など、「もり」が付く言葉が多くあるので、町名としても「もり」を入れる事で今後もその名を残していきたいと思い入れました。
1件	いちょうが丘	いちょうがおか	昭島駅北口地区のエリアは主にモリパークが中心となるエリアで、その象徴であるいちょう並木は全長414メートルと街のメインストリートとなります。 〈いちょう〉という緑豊かな印象と、当地区に隣接したエリアの町名が『つつじが丘』ということから、北口エリア全体が統一された緑豊かな街としての印象になるよう、“いちょう”、プラス “が丘”と意味を込めて希望します。 また、いちょうの花言葉の中には【長寿】という意味があり、これから先幅広い世代に長く愛される街になることを願いベストだと感じました。
1件	岩泉町	いわいずみちょう	昭島市は岩手県岩泉町と「水と緑でつながる」として友好都市協定を結んでいます。「岩泉」という名前の響きもとても涼しげで、きれいな水をイメージする事から「水と緑の町」昭島にもぴったりだと思いました。他県の町名と同じでも大丈夫なのか分かりませんが、候補に上げさせてもらいました。
1件	おいしい水の町	おいしいみずのまち	地下水100%のおいしい水が飲めて、東京都の区長村で唯一、深層地下水のみを水源としているから。また玉川上水が流れ、誇れる水の町だから。この様なストレートな表現の町名の方がよりアピール出来るし、住民や学生、働く人たちも水を大切に使うと思います。
1件	おおぞら町	おおぞらちょう	町名募集の対象となっている昭島駅北口～玉川上水にかけてのエリアは、現在はモリパークを始めとする商業施設やスポーツ施設等が立地する、多摩地域でも有数の人を惹きつけるエリアになりつつあります。昭島市で有名なものを挙げると、「水と緑」「アキシマクジラ」等、水や木々と緑の深いものが多く挙げられますが、昭島市の中でもこのエリアは、古くは昭和飛行機工業の航空機工場と滑走路などの施設が立地し、当時の最先端産業が集積していた歴史を持っています。したがって、このエリアの名前としては、この地で脈々と続く「空」との繋がりを示すことのできるものが相応しいと考えました。「おおぞら町」という町名は、昭島市の「水と緑」に加えて、このエリアの持つ「空」とのつながりが、そのような昭島市の歴史と魅力を語ってくれる地名となることを願って考えた次第です。
1件	大空町	おおぞらまち	太古の時代は悠然とクジラが泳ぎ、そして今では全国でも有数の暮らしやすい町として、11万の人々が集うマイタウン・昭島。昭島駅北側地区は、かつて「遠くの世界へと続く大空」の玄関口だった。滑走路があり、飛行機が生産されたが、その遺産（レガシー）は、飛行機の格納庫をそのまま活かした室内テニスコートなど、令和の今も大切に受け継がれている。太古の昔から、そして今もこの地に暮らす人々が仰ぐのが、頭上に大きく広がるとびっきり蒼い「大空」だ。地下を流れる豊かな水脈とともに昭島市民が誇れるレガシー、それはまさに大空ではないだろうか。この素晴らしい大空を昭島の未来に生きる人々と永く分かち合いたい・・・そう考え、この地に「大空」という文字を刻み込みたい。
1件	大森町	おおもりちょう	小さい頃から昭島で育ち、ヨーカドーがエスパの時から、家族や友人とモリタウンで遊んだり買い物していました。モリタウンは昭島市民の憩いの場所であり、また昭島に遊びに来た方々に昭島の魅力を伝えることができる、オシャレで素敵な商業施設です。また、この地区は特に緑が多く、豊かな自然の中、昭和の森では様々なスポーツや文化的活動を楽しむことができます。そんな昭島の中の「森」を感じられる地区がこれからも大きく繁栄していった欲しいという気持ちを込めて、「大森町」で応募させていただきます。
1件	おたからの郷	おたからのさと	拝島町、田中町、大神町、上川原町、4町を統合しての新町名なので、最初にそれぞれ核となる、拝、田、神、原、の字を選びました。 これらの字を訓読みすると、おが（む）、た、かみ、はら、となります。 その中から、お、た、か、ら、を抽出統合し、「おたから」としました。 既に昭島には、もくせい杜（もくせいのもり）という地名があるので、杜の字はあえて使わず統合する町名の文字、それぞれが含まれたて出来た、郷（さと）を付け加えました。 (おたから)とは、きわめて大切な物、という意味があり、豊かな幸せに満ちた場所をイメージして命名しました。
1件	きたたま町	きたたま	昭島駅北側に立地するということで、北を冠にして、また、玉川上水に近いということと、多摩地区を代表する意味で、玉又は多摩を下に付けたい。そして、わかりやすく親しみやすいひらがなで「きたたま」と表記したい。
1件	北杜	きたもり	昭島駅の北側に位置する美しい杜（もり）今後も自然とともに共生していく
1件	くじら	くじら	昭島市は水（地下水）とくじらがアピールポイントであり、「あきしまくじら」は学名にもなっています。今、町名に「くじら」を使わないと今後使うチャンスがありません。
1件	鯨	くじら	昭島市の中心となる昭島駅目の地であり、モリタウン、アウトドアビレッジ、新マンションなど、これからも開発が進むであろう場所には、昭島の売りである「鯨」を冠した町名が最適だと思います。
1件	鯨町	くじら	本当は近くに玉川上水が通ってて、玉川町って場所的にも良いかなと思ったのですが、存在してて、よく考えたらやっぱり昭島市はクジラが有名なので鯨町で応募しました。
1件	鯨島町	くじらじまちょう	昭島といえばやっぱり鯨！新しく作るのであればいっそのこと町名に入れてもいいんじゃないでしょうか！
1件	くじらの杜	くじらのもり	今回の応募にあたり、小学生の時に、多摩川の河川敷からくじらの骨が見つかって、アキシマクジラと命名されて、大昔はこの辺りは海だったとの話を先生から伺いました。本当に懐かしい思い出です。アキシマエンスという図書館が建ったことにより、くじらの骨格標本も観ることが出来るようになり、昭島といえば【くじら】というイメージが強くなりました。今回エンス図書館も含めた地域であり、昭島駅前を中心とした地域は、市民が集う憩いの場所となっています。更なる地域の発展のために、また市民の人々がより身近にアキシマクジラを感じられるように、【くじらの杜】という町名を希望します。
1件	蔵町	くらまち	蔵とはデジタル大辞泉によると物をしまっておく建物とあります。辞書によって意味が変わる所もあるようですが、倉庫がいくつも建設される新しい昭島地区にふさわしい名称だと思いました。町名の趣向としては古風ですが、遠い未来、ここに倉庫があった、あるいはあるということを明確に示すことができるのではないかと思いますこの名前を希望してみました。
1件	蛭桜町	けいおうちょう	玉川上水を舞う蛭や拝島二小の周りに咲く桜等、美しい自然に囲まれているところなので、蛭と桜を入れた名前が良いと思います。
1件	鯨町	げいたうん	昭島といえばクジラのイメージがあるけれども 鯨を全面に押し出す名前といえば思いつく場所かなかった為

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	向上町	こうじょうちょう	昔はこの地区は昭和飛行機工業の工場従業員達が利用する駅があった場所だったとか。 その他昭島市内では大規模車需工場跡地、立川基地跡地、横田飛行機場跡地などで住民の数は多くなく工場ばかりがあったと聞きました。 工場の町だったのが今や商業施設も増えて住民が集まる地域になりました。 これからますますの発展を祈って「工場」にかけて「向上町」と希望しました。
1件	こもれびが丘	こもれびがおか	市内でも豊かな樹林地であり、木漏れ日の神々しさというところは彫刻園でも注目されたポイントだと思います。豊かな樹林が育まれているからこそ、芸術品を生かす木漏れ日が生まれています。自然を大切に する、森をテーマとする市にとってはこの木漏れ日も市のユニークなポイントとして誇るべきと考え、応募しました。
1件	こもれびの街	こもれびのまち	昭島駅北側地区は、これまで様々な歴史を経て、「環境」と「賑わい」の調和する街づくりが行われてきました。工業・商業・スポーツ・宿泊施設等の多様な施設が発展しながらも、いちよう並木や北の森、線路沿いの桜並木やワダスメモリーが美しい新昭和通り等、多くの樹木による環境・景観が大切に守られています。高層・高密度な都心とは異なり、空が開けていて広々とした空間があるからこそ、木漏れ日が生まれ、ほっとするような街として市民や利用者からも愛されているのではないのでしょうか。これからも昭島市の中心として賑わいのある「街」であるとともに、歩くと木漏れ日を感じられるような地区であってほしい、そんな思いを込め、ひらがなで親しみやすい町名「こもれびの街」を希望します。
1件	さいわい町	さいわいちょう	「さいわい」とは、人と動植物も自由に和して、楽しむようになるので幸せだと感じることです。「さいわい」町は、「さいわい」が安着なる拠点であり、生きがい感を得る地域です。その様な、願いを込めて、「さいわい」町です。「さいわい」町は今後、人と動植物の共生共栄の模範となり、生活は楽しく、嬉しく、憩いと誇りを感じて、楽しめる街となります。また、困難が生じても、前向きな心を持てる街となり、自然も人も誰もが願い事が叶うようになり、それが、「さいわい」町です。ひらがなにした理由は、誰もが優しさと、生きがい、父母のような愛情を理解しやすいためにしました。
1件	桜上水本町	さくらじょうすいほんちょう	桜の木が多い地域であり、かつ、水のおいしい昭島の水ということで、その水に縁がある玉川上水に面していることからこの町名がふさわしいと思いました。 なお、本町とつけたのは、商業施設等が多く昭島のメインタウンにふさわしいことからです。
1件	上水町	じょうすいちょう	・玉川上水近くの町であること ・水を大事にする昭島であること ・水にちなんだネーミングを意識して考えてみました。
1件	上水の杜	じょうすいのもり	400年近くに渡り江戸の町を支え、東京の街を支えてきた玉川上水は、昭島市民の誇りであり、心のよりどころであります。穏やかなその水の流れは、今日でもたくさんの野鳥にとっての命の源であり、四季を通じてほとりを歩く人々を和ませてくれています。その上水の南側に位置し、豊かな緑に囲まれたこの地域は、これからも大切に受け継いでゆくべき杜であると思います。西に美堀、東につつじが丘、の間にあって歴史的にも相応しく、また未来へも語り継いでゆくべき由来をいただく意味で、意義ある名前だと考えました。
1件	上水の森	じょうすいのもり	水源豊かな昭島市。私は必ず「地下水で水がおいしい」と我が市を紹介しています。 そこで「水」の文字を入れようと考えました。 町名募集の地域の側には玉川上水が流れており、桜並木や緑豊かな場所でもあることから「上水の森」に決めました。
1件	昭北町	しょうほくちょう	昭島駅の北側に位置する区域なので、分かりやすく語感の良い昭北町が適切だと考えました。加えて、新しく建つマンションには親が30歳代ー40歳代のファミリー層が多く入居することが見込まれ、その世代で「しょうほく」といえば何と言ってもスラムダンクなので、特別な愛着を感じられるだろうと思いました。市民にとっても昭島に「しょうほく」という地名が誕生することで、気分が盛り上がり、活気ある街づくりの一助となると思いました。わざわざらしいと言えわざわざらしい名前ですが、せっかく昭島駅の北側に名前を付けるのですから、この機会を利用して昭島市に勢いを付けてさらに発展させていきたいと思います。
1件	翔町	しょうまち	過去の歴史を踏まえながら、新たに飛翔してほしいと願います。
1件	昭令新町	しょうれいしんまち	昭和から令和の昭島市の発展を担ってきた中核エリアであり、これからも昭島市の歴史を創ることが考えられます。広い範囲において、新たな町名が生まれることが、時代を牽引する象徴となるような名称を意識いたしました。若者が増え、高齢者とも一緒に昭島市が益々住み良い街になることを念じて申し込みいたしました。
1件	昭和上水	しょうわじょうすい	この地域には北に玉川上水が流れ、四季を通じて豊かな自然の変化を楽しませてくれています。（新緑、ホタル、紅葉、カルガモ、サギetc）昭和飛行機が長い間土地を管理しホテルやゴルフ場経営で住民たちのライフスタイルも健康的で豊かなものに変えてくれました。代官山や上水の自然と昭和飛行機が携わった歴史を昭島のほこりとして残していきたいと考えました。
1件	しょうわの杜	しょうわのもり	北側が開発したときにしょうわの森とつく名前の施設ができたので近隣住民には馴染みがある。田中は多摩川沿いをイメージするので田中とはつかない方がよいと思う。 杜としたのはもくせい杜の町名があるのでそれに合わせた。
1件	昭和の森町	しょうわのもりまち	リゾート地の総称で現在使われていることもあり親しみやすく街のイメージが膨らみまた名前の響きがいいことでこの町名を希望いたします。
1件	新和	しんわ	せっかくの機会なので応募しました。新しい平和の町にちなんで新和町です。
1件	水鯨	すいげい	昭島の象徴である豊かな水と鯨を掛け合わせた。
1件	青天の森町	せいてんのもりちょう	昭島は「水」が有名で、今回モリパークなど「森」がつく名前が多い土地での町名募集です。「水・森」を日本で最初に出来た色である4色(青・白・黒・赤)に当てはめ、「水・森」は「青」になります。その為、町のイメージに「青」色を採用しました。 また経済で「青天井」と言う言葉があり、相場などどんどん上がっていき、天井が見えないことを差します。現在物価が高騰し、各地で都心との経済格差も生まれています。その為、昭島全体の景気・価値が上がり、経済の繁栄を願い「青天」の文字をつけました。 また「青・白・黒・赤」4色の土地名は、頭に残りやすく、4色を採用している町は繁栄している町が多く、東京でも「青山・目白・白金台・目黒・赤坂・赤羽」があり、全国に名前が残せるように「青」色を採用しました。
1件	桑園新町	そうえんしんまち	以前が桑畑だったとのこと。その光景が目には浮かぶようです。桑田変じて滄海となる。そうでんへんじてそうかいとなる。（桑畑であった所が海に変わる意から）クジラの骨が出たこともあるし、満更、海と無関係とも言えないし、マンションに変わり、新しい町になりつつあります。世の中の移り変わりがはげしいことへのたとへでもあるそうです。滄海桑田何か、今の世の中と似ている気がして書いてみました。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	桑園茶園	そうえんちゃえん	かつての風景がどんな場所だったかを先代に聞いてみた。おぼろげながら、自分たちの知っている古い風景には農園があったそうだ。祖先たちが開墾した桑畑や茶畑の広がっている景色がかつてこの辺りにあった。もちろん今現在は工場・ショッピングモールなど近代的な建物が建っているが、それ以前は日本軍に摂取された軍需関連の施設だった。それまた以前には、養蚕が盛んだったことから桑畑や、副業としても狭山茶の茶畑があった。蔵からは茶箱や茶壺も多く残っている。そういう故（いにしえ）の記憶を町名に込めてみた。そして農園と呼んでいたのを聞き『桑園茶園』とした。
1件	空と森の町	そらともりのちょう	昭島駅北の新たな玄関口として、青い空が拡がり、緑が豊かな森を兼ね備えた素敵なエリアであることを象徴するネーミングとしました。空と森の町では、昭島市内外から人々が集い、語らい、楽しみ、未来に羽ばたく子どもたちを優しく育ていけるようなそんな空間になればと考えます。なお、2023年7月30日現在で、空と森の町は我が国唯一の町名であり、その由来とあわせて、昭島市のこれからを日本全国に発信していく際に、とてもキャッチーでわかりやすく、何より、子どもたちにも親しみやすい町名です。「空」は昭島駅北口周辺のどこまでも拡がる青空を指し示すとともに、昭和飛行機やIHIといった「空」とゆかりの深い地域であることに由来し、「森」は昭和の森やモリタウンといった「昭島の森」であることを表現しています。
1件	空和町	そらわちょう	この地で航空機を製造していたことから「空」を連想。また世界で戦争や紛争が起きている現在、この「空」が「平和」で繋がるよう昭島から願いを込めてという意味で考えました。
1件	代官町	だいかんちょう	代官山では多地域に使われているので山を外して もともとあったアザ名なのでそのまま使えば良い
1件	代官山町	だいかんやまちょう	当地には代官山緑地がある。その「代官山」の由来は、室町時代に鎌倉扇ヶ谷上杉家の代官がこの地に館を構えたことによるという。それにあやかり、「代官山町」とするのが最適であると思う。「代官山町」と名付けば都心渋谷区の代官山も連想され、全国的にも馴染みの深い地名となり、どんなところかと皆を惹きつけることが出来る。また、上記の室町時代の鎌倉扇ヶ谷上杉家の代官の館があったということで歴史も語ることも出来る。代官山という名前に惹かれる若者から、歴史的なことも興味を惹かれるようになる熟年の方まで、多くの人々を惹きつけ、またそこに住む人々も誇りを持って住むことが出来るようになると思います。
1件	ダグラス町	だぐらすちょう	昔ダグラスが飛んでいましたので
1件	楽水町	たのしみまち	多くの来街者が訪れ、買い物や映画やイベント参加できる楽しい昭島駅と、水の工場や玉川上水がある水と自然豊かな町を合わせて表現したかったため。
1件	つつじが丘	つつじがおか	あえて新町名にすることなく、比較的新しいつつじが丘の新番地として加えたほうがある意味合理的に感じたこと。
1件	つつじヶ丘 / 美堀町	つつじがおか / みほりちょう	要は新町名必要ない 元々のつつじヶ丘美堀町共に人口が少ない上、今回対象エリアも地勢人口ゼロ地域 新たにそのエリアを新町名にしたら同じ町名の中で昭和飛行機工業の敷地が駅北口などと拝島2小など土地利用界を分断してしまい不都合である 寧ろ、拝島2小所在地と学区、また、エスパやカインズなど商業集積地を一体的に纏めるのが好都合である よって、北半分工業系ゾーニングエリアを美堀町、南半分商業系ゾーニングエリアをつつじヶ丘として分ければいい 既存の大字に統合すると丁目の振り方がつつじヶ丘四丁目以上、及び美堀町六丁目以上になり、順序が変則的になるがそのくらいやむを得ぬ
1件	豊森	とよもり	豊かな自然と豊富な商業施設があるモリパークだから。
1件	永遠の森	とわのもり	昭和の森が人々に永遠に愛されるよう願いを込めました。 私は生まれてからずっと昭島市に住んでいて、昭和飛行機の土地の開発とともに成長していった感じです。 昭島市は本当に便利で、住みやすいので住みたい街ランキングに入ってほしいなっています(笑)。 昭島大好きー！
1件	はなみずき町	はなみずきちょう	昭和の森付近に並ぶハナミズキが、季節が変わる事に姿を変え綺麗なのがとても印象に残っているからです。
1件	花水木町	はなみずきちょう	対象地区は、北側の西から東に玉川上水が流れていて、1月から7月にかけて水量が豊富な美堀橋付近は、カルガモの恰好なエサ場になっています。親ガモが群れをなして水草などの餌をついばんでいます。また、東側のはなみずき通りに沿って「花水木」が街路樹として栽植されており、毎年春には白や淡桃色の4枚の大きな花弁をつけます。対象地区は、昭島の将来都市像である「水と緑が育むふるさと昭島〜多様性と意外性のある楽しいまちを目指して〜」、玉川上水の緑道に沿って自然とふれあう憩いの場として、水と緑の環境を次の世代へと引き継いでいってほしいと思い、「花水木」という町名を応募いたしました。
1件	花水木町	はなみずきまち	この辺りの区域を主人と毎朝ウォーキングしています。緑の草や木、花、鳥など自然も多く、気持ち良い道です。しかし、既にマンションの工事が始まっており、今後更に新たな街に変わっていきます。きっと、この自然が減っていく事と残念に思っております。新しい街になっても、この町並を忘れないように、そして、毎年きれいに咲いてくれる「花水木」が今後も咲いてくれる事を願って、この町名を希望致します。
1件	光町	ひかりちょう	明るい町のイメージ
1件	ひこうきのまち	ひこうきのまち	飛行場の跡地 :昭和飛行機・立川基地跡地 を残し、読みやすく柔らかなイメージにするためにひらがな表記 で考えました。
1件	飛翔の町	ひしょうのまち	今回募集のあった昭島駅北側の地区では、古くから現在に至るまで、「昭和飛行機工業」によって使われている土地であった。また、「昭島駅」が、かつて「昭和前駅」と呼ばれていたことから考察されるように昭島市(旧昭和町)にとって、「昭和飛行機工業」の影響は多大なものであった。そして、現在では大きな商業施設、運動施設、公共施設などがあり、この地域を中心に昭島市は経済的に大きく発展している。そこで私は、その昭和飛行機という言葉と該当地域をはじめとする昭島の今後の更なる発展を願う気持ちから、「飛翔(ひしょう)」という言葉を連想し、「飛翔の町(ひしょうのまち)」という町名を希望した。
1件	美水町	びすいちょう	昭島の中心部の大切な地区なので昭島が誇るやはり美味しい水の名前が1番だと思います。これからもこの美味しい水を大切に私達から子供達へと次々と受け継がれ市民が皆幸せに暮らして行けるそんな町名だと思います。
1件	雲雀町	ひばりちょう	雲雀は美しいさえずりで知られる小鳥であり、その歌声は春の到来を告げる象徴とされ、世界各国で親しまれています。昭島の豊かな自然と美しい環境にマッチしており、町に明るさと活気をもたらす名前として適切だと考えます。また、雲雀は日本の文化にも根付いており、俳句や和歌にもしばしば登場するため、地域の歴史と伝統を尊重し親しみやすいものとなるでしょう。さらに、語調が良く、簡潔で覚えやすい町名であるため、地域の住民や来訪者が迷わずに目的地にたどり着くことができます。地域の自然と文化、そして明るい未来を象徴する名前として、ぜひ検討していただければ幸いです。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	富士美の森	ふじみのもり	富士山がよく見える日があり、昭島市にも富士がついた地名があったら良いと思った為です。また昭和の森、モリタウンを抱えた地域のために後世に「森」があった地域なんだと残していきたいと思いました。昭島と言うと水が美味しいと連想されますが、水や谷などを町名にすると水害を連想させてしまい居住を敬遠されてしまうので使用しませんでした。
1件	フレンド	ふれんど	フレンドリーな町昭島駅南口、そこは国際的に有名な会社クリタ（栗田工業）、IHI、昭和産業、昭和飛行機、近くにはフォスター電機、日本航空電子、(株)ホーヤ、世界で1位、2位を競う顕微鏡の会社日本電子、フランスペット等が有り、昭和の森のショッピング街では外国人も多くフレンドシップな町を形勢しています。「フレンドへ行こう」の合言葉が出る様な成る様な町を願っています。
1件	ほがらか	ほがらか	市内・市外から1000人近い人が新しくできるマンションに、そして昭島に住むという事で、すべての方々がほがらかに生活できるように。そして、「ほがらか1丁目、2丁目…」の響きも良いと思うため。また、全国を見ても、ひらがなの町名が増えていると感じ、それが新しいと思えるため。
1件	星の森	ほしのもり	昭和の森の跡地に建設されるマンション群　きれいに輝く窓の光が星のよう輝く様子をイメージします。
1件	蛍が丘	ほたるがおか	この地域の北側を流れる玉川上水にはゲンジボタルが生息しています。 私は7年前に転入して以来、このエリアのホタルを毎年見に行き、その光に癒やされてきました。 ホタルという生き物からは「綺麗な水」「豊かな自然」「共生」「美しい光」といった良い印象を受けるので、「蛍」という字が入れば、住む人が町名と地域の環境に誇りを持てるのではないかと考えました。 また、市民の皆さんが町名をきっかけにホタルの存在を知って触れる機会が増えれば、皆さんの環境保全の意識向上にも役立てるのではないのでしょうか。 つつじ（春）、木犀（秋）、地下から汲んだ雪（冬）どけ水に、蛍（夏）が加われば、昭島市の四季折々の魅力が揃い、市外の人にも昭島の良さをアピールしやすくなると思います。
1件	ほたる町	ほたるちょう	昔、子供の頃に玉川上水ではたくさんのほたるが生息していました。懐かしい思い出です。水がキレイだからこそ、蛍がたくさんいたのです。その名残を町名にしたいと思いました。
1件	美神町	みかみちょう	近隣に「美堀」「中神」という地名があるので、そこから「美」と「神」を取って「美神町」としました。地域に馴染みのある文字を使ったこと、そして「美しい神」という意味になりとてもきれいで印象の良いことから、住民、市民にはもちろん、市外の方や観光客の方たちにも好まれる名前だと思います。もし今後、ドラマやアニメの場所として使われれば「聖地」としてもふさわしい町名だと思います。
1件	美郷町	みさとまち	「美郷」町（みさとまち）一番素晴らしく、懐かしく、美しく、楽しい所は「ふるさと」です。そこは、山川草木、家族、親戚、友人と泣き笑い、苦楽を一緒にした数々思い出が詰まっています。川で鯉、沢かに、野山でどんぼ、かぶと虫、クワガタ、を捕まえた感触を忘れません。目を閉じると今も純な心情が懐かしいです。その懐かしい景色を「美しいふるさと」と呼ぶと「美郷」になります。楽しい、汗涙を流し成長してきたなあと思える力が出来ます。誰もが「ふるさと」を思える「美郷」町は昭島北口の新町名になると、若者が集まり、新婚家庭できます。昭島の未来は森タウンを中核とする未来都市構想の上に共生する玉川上水近辺の水と緑が醸す「ふるさと」名に相應しい名称かと思い上げました。
1件	水色町	みずいろまち	私が考えた町名は水色町です。理由は、昭島に住んでいて自慢できるのは、お水がおいしいということ水を町名に入れたくて、そして、きれいな町名にしたかったからです。駅周辺は豊かな自然にあふれ近くには玉川上水と水色のイメージにぴったり。これからいろいろな建物が立つでしょうが、清潔感のあるステキな町づくりをお願いします。他の市の人もたくさん訪れる楽しくきれいな水色町ワクワクします！！
1件	瑞	みずき	若々しく希望溢れるという意味。みず　は昭島の水　のイメージとも合い、めでたい、喜ばしい、みずみずしい、という将来の昭島の中心になっていく立地の名に相應しいと考えたから。敢えて、町をつけず、昭島市瑞（みずき）でいかがでしょうか
1件	「みずき」　または漢字「水木」	みずき	市民の散歩道として親しまれている自然豊かな玉川上水沿いに、多く自生する落葉樹である「ミズキ」は、根から水を吸い上げる力が強く、春先に枝を切ると水が滴り落ちることからその名「水木」と呼ばれる。（予定地区境のハナミズキ通りのハナミズキもこのミズキ科ミズキ属） 艶やかな葉に白い小花が咲き、その実を様々な鳥も食べに来る。 “水と緑の自然環境を守るまちづくり”を進める昭島が、特にこの地区がこれから多様な開発によって大きく変わろうとしている今だからこそ、その清らかな水と緑を守り生かし、更に魅力的なまちづくりを続けられるよう心から強く願いを込めて、応募致します。
1件	水喜町	みずきちょう	歴史的にも水と深く関わりがあり、都内で唯一の安全で天然ミネラルたっぷりの美味しい地下水を市内全戸に供給をする昭島市は私の自慢の市です。震災の際、近隣の方々や在市年数の短い方々は放射能汚染を心配してミネラルウォーターやウォーターサーバーを求める方もいましたが、我が家や長く昭島市に住まうものは、水のことを全く心配せずに生活ができました。命の源の水、安心安全の地下水があってこそ、掛け替えのない大切な水資源と共に、喜びに満ちた毎日をこの昭島市で生活ができることに感謝をこめて、『水喜町』を希望します。
1件	水島町	みずしまちょう	昭島を代表する地下水をいつまでも飲み続けたい、そして残したい気持ちを込めて水 昭島駅に近いことと拝島町の島を残して島 以上の理由で水島町を希望します。
1件	水の都町	みずのみやちょう	昭島市は、「深層地下水100%」というほかの自治体には無いユニークな魅力を持っています。これはもっともっと発信していかなければならないPRポイントです。また、多くの方々に知ってもらいたい強みでもあります。昭島駅北側地区は、様々な変革が起ころうとしている地域であり、新しい昭島像を構築する重要な役割を担っています。そこで今回は「水の共生都市　昭島」から「水」を、また新しい昭島へと生まれ変わることから「都」というワードを使い、「水の都町」としました。今回の企画は、昭島市の魅力を市内外へ広く知らしめ「昭島愛」や「シビックプライド」の向上はもとより「シン・アキシマ」へと繋げられるすばらしい機会であると考えます。
1件	みずの杜	みずのもり	昭島の美味しい水と豊かな自然を表した名前が良いと思いました。
1件	水の杜町	みずのもりちょう	以前は拝島町、田中町、宮沢町中神町、福島町、郷地町とあった昭島市が新しい街として、緑町、朝日町、玉川町、東町など真ん中に後で作り、分断されて町名が飛び地化して現在に至り、わかりにくくなっています。今回の地は、多摩川から続く拝島町の名残の地です。その昔、多摩川の水を使い、田畑が発達しましたが、新しい田畑を求めて北に開拓が進み、北を流れる玉川上水の水がその地の畑や町の発展に寄与し、多摩川の氾濫などで不安定な地より、この水と人の力で緑が増えて発展した地。自然豊かな地です。宮城県仙台市、愛称「杜の都」は山などに自然に生えている樹木や草花だけでなく、その町の人々が手をかけて育ててきた豊かな緑を指すので、「森」がもつ「自然にできた樹木」という意味の否定のために「杜の都」を表すようになったという文章を見て、この名を考えました。玉川上水の素晴らしい水と人々が手をかけて育てた緑の地で、「水の杜町」。の、を入れたのは、水森さんという苗字が存在するので、発音でいやな思いがないといいかと。
1件	水森町	みずもり	水と森を大切にしている為
1件	水森町	みずもりちょう	昭島市のおいしい水と、「モリタウン」、「昭和の森」などの「森」をとって名付けました。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	みどりの杜	みどりのもり	緑豊かな昭島をこれからの子供達今生きているわたし達も感じることができる名前にしたかった。またもくせいの杜の名称とも相性がよく、市外の方への昭島としての考え方を伝えるのにも良いと思い選考した。
1件	水神町	みなかみちょう	町名を考えるために昭島市の歴史を調べることにしました。そしてそれを夏休みの自由研究にしようと思いました。 昭島市はクジラの化石、美味しい地下水、玉川上水が有名です。 なので、それにちなんだみんなに親しまれる町名がいいと思いました。 昭島市のゆるキャラちっばーはカッパです。カッパは今は妖怪のイメージが強いですが、場所によっては水の神様のお使いなのだそうです。 またクジラも海の生き物の中では一番大きく神様として祀られているところもあるそうです。 また中神町や大神町といった神のつく町名があり、玉川上水の水源に近いといった理由から、僕は新しい町名に水神町(みなかみちょう)を提案します。
1件	美堀町	みほりちょう	隣接している「美堀町」の6丁目以降でつけたほうが、新しい名前をつけるよりも、わかりやすく、親しみももてると思いました。
1件	雅町	みやびちょう	緑の樹木と水の町昭島。この優美で清らかな町をひと言で表わすなら” 雅” の一文字。ぜひあきしまのイメージを表わした” 雅” を町名に推薦させて頂きました。
1件	未来	みらい	私の住んでいるつつじが丘団地は購入当時はあまり人気がなく応募者も少ないちょっとうらぶれた団地でした。しかし今は深い緑につつまれ、若い人々の姿も多い素晴らしい団地になっています。晩年を迎えた私もこの団地に住んでいることを心の府から誇りに思っています。新らたな町名の街に住む人にも、ぜひ自分達の町に謙虚な誇りを持ち、素晴らしい「未来」を推奨致します。短い地名の中にも強い意志と誇りが感じられしかも書いて簡潔です。ご検討下さい。
1件	水来	みらい	昭島市はなんととっても地下水100%で水が大変美味しいです。そこで絶対に「水」の一文字を使いたいと思いました。 また、この地域は未来に向けて発展していく町づくりが進んでいます、この先は昭島市でも中心となり得る地域だと思います。よって未来に向けての「来」の一文字を使いたいと決めました。「水来町」と書いて「みらいちょう」と読みます。
1件	水来町	みらいちょう	昭島市は、山に降った雨や雪が約30年かけて、ろ過された『深層地下水』を使う東京都唯一の市です。 そんな昭島市の誇れる資源である水を町の名前に出来たら、昭島市民の深層地下水に対するイメージももっと身近になるのではないかと思ったからです。 しかし、なぜ水という漢字を当て字として、水来町にしたかということ、昭島の水のイメージを昭島市民にいつまでも“昭島市といったら”と思えるような資源にしたいと思うし、昭島の水をいつまでも絶えさせず、昭島市民の心に残り続ける資源にしたいとも思ったからです。
1件	武蔵の和泉	むさしのいずみ	東京地域（旧武蔵の国）は水源（川含む）の少ない町、その町々で昭島は多摩川、玉川上水に挟まり、その上に湧泉水を持つ唯一の町、だから堂々と名乗りたい。市名も変えて下さいね！
1件	明星町	めいせいちょう	これからの昭島市の未来を象徴する町として、子供から老人までが暮らし続けていきたいと思う町として、 明けの明星のように常に光り輝く町であることを希望します。
1件	木香町	もっかちょう、きこうちょう	その地帯はたくさんの木々に囲まれています。木は季節を知らせてくれたり、木陰になって人をほっとさせてくれたり、長く生きる象徴です。 木の香りに包まれて暮らせる街として、木香町と名づけました。
1件	森	もり	以前からフォレスト等の森を連想する地名で馴染んでいるから
1件	森桜町	もりおうちょう	昭島で生まれ、育ち、50年住み続けています。職場も市内です。 子供の頃、昭和の森と呼ばれ始めた頃を思い出します。 フィールドアスレチックにバットバットゴルフ、後には巨大迷路もありました。想い出が沢山ある場所です。 この場所で「森」は外せないと思います。そしてそれに足す言葉。 「つつじ」「もくせい」と、昭島に関連した名前が新しい住所になっています。 次の新しい町名も花の名前が良いと考えました。日本が誇る世界にも通ずる花、「桜」 誰にでも馴染みがありながら、それでいて高貴で上品です。 しかし「さくら」では語呂が悪いので、「おう」と読む事に。 小学生で習う漢字でありながら、気品があり重厚感のある町名だと思います。
1件	森島町	もりしまちょう	この地域は長いこと、拝島町と呼ばれてきました。昭和40年代（50年代？）の町名変更で、だいぶ変わりましたが、ここは、そのまま、変わらず。市の西南側に位置する拝島町と混同され、一時は、ドライブ一泣かせでもあったようです。また、豊かな森の広がっていた昭和飛行機の敷地も今は開発が進み最後の貴重な緑地も変わろうとしています。生まれた時から近くに住み、思い出の「拝島」「昭和飛行機」、その2つのキーワードから「森島町」と考えました。少しでも、こんな所だったんだ、と思い出してもらえるような町名になれば嬉しく思います。
1件	森の彩	もりのいろ	新しい町名になる所に、梅、桜、花水木、つつじ、さるすべりの花が咲く。ホレストイン昭和館、モリタウン、新しく建つマンション名にも” モリ” がついている。昭島に来た時、アスレティクがありました がその後木が切られました。木が切られない為にとも思いました。
1件	森の丘	もりのおか	もり→代官山の森があり昭島市の貴重な緑を象徴する場所、の（ヶとすると が・ケ・ヶなど間違いやすい）、おか（河岸段丘の台地であり隣のつつじが丘とならぶのにふさわしい）
1件	森の町	もりのちょう	モリタウンやフォレストインなど、森をイメージした商業施設があるので、それらになぞらえ、緑豊かな町の名前で、シンプルなものを考えました。
1件	森の中	もりのなか	モリタウンの森、田中町から中を取り、読みやすく書きやすい言葉で考えました。 駅前ながら木々の青々としたイメージを地名に入れたいと思います。
1件	杜の町	もりのまち	「杜の街」とは、緑豊かな街のこと。昭島の豊かな自然をイメージしました。また、駅まrの商業施設の名前にも「モリ」が、ホテルの名前にも訳せば「森」、昭島と言えばいろんな「もり」に出会えます。 住んでいる人にも、他所から来る人にも、緑豊かな街を連想し、また未来にもつなげてもらえることを期待して「杜の街」としてみました。
1件	森の町	もりのまち	昭島市民が長く慣れ親しんだモリタウンにあやかりました。 また近い将来に開発で緑地が無くなる事になったとしても「このあたりには森があった」という事を後世の人たちに伝えたいという思いです。
1件	森の社	もりのやしろ	森タウンの森。新しい地名のもくせいの杜の杜。住所書く時や口頭で伝える時も、面倒でないものに。オシャレ、かつ少しレトロな言葉があった方が温かみがあるかと思い。駅前で商業施設が多い中でも、遊歩道など緑の多い青々としたイメージだから。社の土地を護るみたいな意味も、昭島市の玄関口の昭島駅北口から昭島市全体を、そして地域環境を護る意味合いも込めて命名しました。

町名集計結果（件数順）

資料 2

件数	希望する町名	希望する町名の読み方	町名を希望する理由
1件	モリパークタウン	もりぱーくたうん	昭島市北口は私にとって大切な場所です。駅の周辺であり買い物、食事、仲間との待合せ、運動など便利な場所です。年々開発されて新しい建物や道路ができ、より利用価値が高まってきている感じがします。次は何ができるのだろうかというワクワク感もあります。環境的にも、さくら並木、いちょう並木など四季の緑に恵まれた地域です。 今回この地域の「新しい町」の名前を考えるにあたり、私は次の3点に注意しました。 ①昭島の北側の特徴的なことが感じられる名前であること ②お年寄りから子供たちまで多くの人たちに親しまれる名前であること ③昭島市以外の方にも、気軽に立ち寄ってもらえそうな名前であること このような観点から、「モリパークタウン」という名前を提案します。緑に囲まれ、公園のような雰囲気のある町。そして、将来にわたり多くの人に愛される町になって欲しいという願いを込めて作りました。
1件	モリパーク町	もりぱーくちょう	昭島市といえばモリパーク。その応募するところが、モリパークだから。それにその範囲は昭島ならではの、クリタウォーターガッシュ昭島やアウトドアビレッジ、昭和の森テニスセンター、モリタウン、モリパーク緑の広場などのモリパークの範囲の中にあるから「モリパーク町」にした。
1件	安木町	やすきちょう	老若男女の安らぎの場となっているモリタウンとモリパークのいちょう並木を組み合わせた町名です。ゴルフコースがなくなり物流施設ができるそうですが、市民が安心して過ごせるエリアになってほしいなと願いを込めて希望しました。
1件	ゆうまい	ゆうまい	ゆう…①「友」好の町、②「遊」べる楽しい町、③「勇」壮な景観の町 まい…①「毎」日が感動できる町、②「My」Town（私の町）、③「舞」…躍動感があふれる町 主にこの6つの意味から「ゆうまい」という町名にしました。
1件	ゆかり町	ゆかりまち	「ゆかり町」の「ゆかり（縁）」は、その町に暮らす人々の「縁（えん、えにし）」を意味します。 （昭島市で1961年に発見された「アキシマクジラ（エスクリティウス アキシマエンシス）」にも「エン」が含まれています。） 「縁」はまた「ふち」とも読み、周囲の自治体と接する「昭島駅北側地区」の地理的環境を表しています。 人々の縁は、昭島市内だけでなく市外へもつながっていきます。
1件	若葉町	わかばちょう	緑がとても多くて環境もいいところなので。
1件	和新町	わしんちょう	和はよわらぎを意味し、昭島の市の由来も今回の改町の時季も令和も共に昭和も和がついています。又昭島は水も地下水で東京都唯一の都市であり、周辺の町名でも守屋つつじなど自然美あふれた印象を与える名称です。又駅北地区は、要かなめの要地であり、昭島は地層や交通、水源の集まる中心地でもあるので自然や和の日本の家族や人々の和を大切にする精神を表る町名だと思いました。
1件	わたりの森	わたりのもり	近世までは、畑、雑木林、がメインであり、明治以降は、桑畑、航空産業、が顕著になった地域である。 小字代官山は、すでに他地区で著名であり、当市代官山は字名にわずかに残る程度で、「代官山」の実態を見出すことは困難である。 よって、航空産業や現在稼働中の商業施設に着目することとなった。 「航空」「宇宙」という熟語がすぐに浮かぶが、この2者間では、前者「航空」のほうが市民になじみがある。 よって、「航」の字の訓読み「わたる」をベースに、代官山の森、もくせいの杜、という地名を念頭に置き、 駅前商業施設と緑地が混然一体となって今後も発展していったほしい、という観点から、「森」という漢字を使うこととした。 なお、漢字「杜」はすでに市内町名で使われているので除外し、「わたりの森」とした。